

地域自主組織 『きばらいや上中山』

令和3年度を振り返って

今年度上期においては、コロナ禍の影響で全く活動が行えない期間が続きました。昨年度は何とか実施出来た「イングリッシュ・デイ・キャンプ」も実施を目前に中止をせざるを得ませんでした。当日を楽しみに待っておられた生徒さんや保護者の方には、申し訳ない結果となってしまいました。

同様に、隣接するプールの開放にあわせて実施していた「夏休みの子ども見守り活動」もオープンより1週間余りで中止となりました。子どもたちからは、楽しみにしていた行事が次々になくなり、本当に残念がる声が聞かれました。

その後、コロナが落ち着いてきた11月には、「第8回・学びの里甲川まつり」を2年ぶりに行いました。今回は、コロナのため、バザーをテイクアウトのみにしましたが、野外での「カラオケコーナー」、また「ポッチャ体験」や布遊びサークル「わたぼうし」の作品展示販売、「学びの里」も習字の作品など、皆さんにゆっくりと「まつり」を楽しんでいただくことができました。



▲恒例のロング巻き寿司や豚汁のふるまいは中止しました

大半の催しを行った園庭では、あちこちから「ほんに、久しぶりだなあ」「元気にしとんかったかや?」と、久々の再会を喜ぶ声が聞こえ、地域の皆さんもまつりが行われるのを心待ちにされていた様子が見えがえました。

当日は朝方から強い風が吹き天候を心配しましたが、まつりが始まるころには、陽気に恵まれ絶好のまつり日和となりました。今年度は来場いただいた皆さんに、感謝の気持ちを含め「伯耆の白うさぎせんべい

(二枚入り)をプレゼントしました。

地域に語り継がれる『伯耆の白うさぎ』の神話を皆さんに興味を持っていただけるきっかけになれば幸いです。

そして、12月18日に大山町老人クラブ連合会中山支部の協賛をいただき、例年「学びの里甲川」で行っているクリスマス会を、コロナで実施できなかった「春のつどい(お話会とコンサート)」と併せて「冬の集い」と題して、中山温泉生活想像館の「わくわくホール」で行いました。プログラムは「麦の会」の皆さんのお話会と、植松の野口勇さんのフルート、クラリネットアンサンブル「アンサンブル・ヴァンヴェール」さんの演



▲久しぶりの「麦の会」のお話に聞き入りました

奏です。

きばらいや上中山では、地域の皆さんの交流の場として集っていただけるよう、『学びの里甲川』を拠点とした活動を大切にしてきました。例年のクリスマス会なら多目的室を利用して行い、出演者と来場の皆さんとの茶話会もありますが、今年度は少し違った形での実施となりました。

今年度もまだ、何もかもが、コロナ禍の前と同じというわけにはいかない1年でしたが、きばらいや上中山では、できることを少しずつという気持ちで、毎週木曜日の活動は、感染対策を取りながら、カフェやポッチャ、「わたぼうし」や「ゴンドラの唄の会」のサークル活動などは通常通り行っています。

また、きばらいや上中山では、現在ホームページ開設の準備をしています。3月末を目途に、新たに情報を発信していく予定ですので、完成の際には、ぜひホームページにもご訪問ください。

URL: (3月末開設予定)
<https://www.kibaraiya.com/>

☎ きばらいや上中山

☎ 0858-58-4888

(火・木・土の午後)